

春  
夏  
秋  
冬

21

# 2005 四季のコンサートだより

2005年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 〒430-0904浜松市中沢町44-11

電話連絡 (053)473-3579(原)

e-mail:hamatomo@palette.plala.or.jp  
http://www6.plala.or.jp/hamatomo/

## 沈黙の瞬間

ピアニスト 小菅 優

浜松に弾きに行くのはいつもとても楽しみです。私にとって音楽の町という印象が強く、お客様が心から音楽を楽しんでくださる感じがします。初めて浜松に来たのは、もう9年も前になります。当時13歳の私は浜松国際アカデミーの為にドイツから帰ってきました。とても整った設備、音楽に興味深いお客様、そしてアカデミーコンクールでの最後のピアノ選びはとても楽しく良く覚えています。ピアノは各種独自のものを持っているので、それぞれの性格を追求し、一つ一つの持ち味を出すにはピアニストにとって興味深くまた難しい問題です。弦楽器や管楽器と違ってこの巨大な楽器を背負ってコンサートの旅に出られないので、その場その場で違うピアノに慣れなくてはいけないからです。リサイタルの場合は特にいろいろな作曲家の曲を弾くので、毎回ピアノを変えたいくらいです。

今年は日本でもコンサートが多く、6月はリサイタルツアーで7箇所回りました。その後すぐ、7月初めには来年発売される新CDの録音（NDR放送交響楽団、ローレンス・フォスター指揮、モーツァルトのコンチェルト）の為にハンブルクに一旦帰り、再び日本に戻り、チャイコフスキーのコンチェルト（読売日響、広上淳一先生指揮）を弾きました。（日本テレビ11月放送予定）。また今年は9月末にNHK出版より「情熱のカデンツァ」という本を出す事になっています。私の旅日記みたいな本で波瀾万丈の

コンサートツアーなどのエピソードが入っています。

私がここ（浜松音楽友の会）で6月に弾いたプログラムは、ヘンデル、ハイドン、ベートーヴェン、ショパンと個性の強い作曲家がずらりと並んで、その中でも最もそれぞれのキャラクターが出る曲を選びました。たとえば、ベートーヴェンの情熱ソナタは彼自身がとても満足していた曲で、また最も個人的な曲だったのではないのでしょうか。ただ情熱だけではなく彼独自の暗黒の世界が繰り広げられ、急に出てくるアクセントで表現される人生の逃れられない運命と共に人間の強い意志と救いようのない弱さが伝わってきます。最初の心の底の秘密を感じさせるハーモニーを細かい強弱でつく音が悪い予感のように邪魔し、第2主題の一見平和なメロディーも、バスから深く暗い泡が噴いているようです。最後にいくにつれ彼の嘆きが聞こえてくるようです。それは絶望感に苦しむ痛く辛い嘆きです。

このソナタに限らずベートーヴェンの作品は、必ず言いたい事があるように感じます。そこが私にとって特に魅力的なのです。しかし本当は彼が何を言いたかったのかというのは、もはや知りえないこと。それを考えるのは私たち音楽家の人生の目的だと思います。今、若い私が考える事が、これから年を重ねるにつれてどんどん変化していくからです。彼の伝えたい強いメッセージの伝達者として、重い責任があると同時に、非常に難しい問題に立ち向かっていかなければいけない訳です。でもこれからもいろいろな新しい発見が出てくると思うと期待感で胸は膨らむ一方です。

お客様はとてもシーンとじっくり聴いてくださいました。一曲終わって拍手の前の沈黙の時、ライブでしか味わえない瞬間を感じます。その瞬間を味わいに又ここで弾く機会があると嬉しいです。



<http://www.kajimotomusic.com/japanese/artist-jap/piano/YuKosuge.html>

## 四季のコンサートを終えて

オペラ歌手 田上和穂 (二期会会員)

先日は「四季のコンサート」に出演させていただき、ほんとうにありがとうございました。お越しくくださった皆様、またスタッフの方々に出演者を代表いたしまして、心よりお礼申し上げます。

私たち「二期会マイスタージンガー」は、“誰にでも分かりやすく、楽しいクラシックコンサートを！”をコンセプトに、お客様の心のやすらげる公演を目標に活動しております。東京を始め全国各地で公演をさせていただいておりますが、この度、まさか私の出身地である浜松で歌う事ができるとは夢にも思いませんでした。普段にはない緊張感がありましたが、それ以上に地元の皆様が私たちの演奏にどんな反応をしていただけるか、とても楽しみでした。

私たちのコンサートは如何だったでしょうか？

「浜松音楽友の会」では、毎回様々なジャンル、そして一流の演奏家の方々を招く活動から、ただならぬ耳をお持ちになった皆様です。少々感想を聞くのが恐ろし



くもありますが……。

私個人としては、皆様の暖かい声や拍手をいただいた事で本当に伸び伸びと歌うことができたと思っています。そして、皆様から元気をいただき東京に帰ってくる事ができました。

私は、昨年よりマイスタージンガーの一員として活動しております。メンバーの中では一番年下で、キャリアも及ばないのですが、先輩方と同じ舞台に立つ度に多くのことを勉強させていただいています。テクニックや表現力はもちろん、舞台でのマナーや音楽に対しての真摯な姿勢は、常に頭が下がる思いです。今後も、先輩方に負けず、若々しい好奇心を持ちながら、8人で創り上げる声のハーモニーの美しさを追求していきたいと考えています。

この度の舞台である「はまホール」は、私が小学校の時代にピアノコンサートで立たせていただいた思い出深い場所でした。あの時の私は、「客席が多いし、とても広くて大きいなあ！」と、舞台袖から感じていたものでした。それから20年後、同じ舞台で音楽を仕事として続けてきていることに、私は幸せを感じました。その事に感謝しつつ、今後も音楽の世界にどっぷり浸かり精進し、“また皆様に会いに来ることができたなら”、とっております。その日まで……。



## 雰囲気を楽しむ

友の会会員 小川一三

突然ですが、自宅スピーカーを30年ぶりに買い替えました。原音に忠実なタイプから、雰囲気を楽しむタイプへの変更です。思えば、前のスピーカーを買った頃は、ただひたすら良い音を求めていました。当時、マニア向け雑誌に回路図が掲載されたアンプを自作したり、PCM録音からプレスされた世界初のLPが発売されると聞けば、真っ先に入手したりしました。そして、同じ趣味を持つ友人と、その音に一喜一憂していました。その後、就職、結婚、そして子供が生まれ、時間も熱意も以前ほどなくなっただけでしたが、なんとなく、その延長でオーディオ装置を維持してきました。しかし、その装置に電源が入る時間はめっきり減ってしまいました。

数年前、子供とふたり、浜松音楽友の会に入会させていただき、ほぼ20年ぶりに、生演奏を定期的に聞く機会に恵まれました。毎回、子供と生演奏を楽しむうちに、懐

かしく思い出した感覚があります。それは、多感な高校時代、ミュージカル映画「サウンド・オブ・ミュージック」等を見た時の、あの『ときめき』です。ストーリーが展開していく中で登場する歌声、メロディに、心が強烈に躍ったことを覚えています。その後、より良い音を求めるオーディオの趣味と、ストーリー展開を楽しむミュージカルの趣味は、私の中では何か別物として継続してきました。生演奏に触れる機会が増えた最近、自宅のオーディオ装置を、理屈抜きで、演奏の雰囲気を楽しむものにしたいと思うようになりました。そして30年ぶりのスピーカー変更となった訳です。

この思いを大事に、音楽友の会の演奏会には、今後も最優先で参加させていただきたいと思っています。また、この思いが、家族にも伝わり、共に楽しむ事ができたらと願っています。

## これからのコンサート予定

秋

川島成道 ヴァイオリンリサイタル

10月29日(土) 6:45PM

ピアノ：鷺宮美幸

デビューアルバム「歌の翼に」が記録的大ヒットとなり、今日本で最も注目と人気を集めているヴァイオリニスト川島成道の渾身のステージ。視覚障害を乗り越えて、イギリスを本拠地にソリストとして国際的な演奏活動を展開。世界各国の聴衆、メディアから圧倒的な支持を得ている、神聖さを湛えた、情緒溢れる美しい調べをどうぞお楽しみください。

川島成道オフィシャルホームページ：<http://www.narimichi.jp>



写真提供：ビクターエンタテインメント

### プログラム

1部：ヴィタリー／シャコンヌ

フランク／ソナタ イ長調

2部：エルガー／愛の挨拶

マスネ／タイスの瞑想曲

エルンスト／夏の名残のバラ

グノー／アヴェ・マリア

ワックスマン／カルメン幻想曲

(曲目変更あり)

冬

クラシック・バスカーズ コンサート

12月11日(日) 6:45PM

イギリスの名門ケンブリッジ大学出身の二人だけのオーケストラコンサート。笛（リコーダー、フルート、オカリナ）など30種類以上の楽器を駆使し、知性と教養が邪魔をしない？ユーモアとウィットに満ちた絶妙のパフォーマンスで、魅力いっぱいのステージを繰り広げます。

どうぞご期待ください！



### プログラム

ベートーヴェン／交響曲第九より

コンドルは飛んでゆく

ラヴェル／ボレロ

グリーン・スリープス

ドヴォルザーク／交響曲「新世界」より

クリスマス・ソング

ハイドン／オカリナ協奏曲

ハチャトリアン／剣の舞

モーツァルト／トルコ行進曲

ロッシーニ／ウィリアム・テル序曲

サン＝サーンス／動物の謝肉祭より

ハイドン／トランペット協奏曲

チャイコフスキー／花のワルツ

指揮者なし交響曲

ロシア民謡／カチューシャ

歌抜きオペラ

シュトラウス／美しく青きドナウ

ワーグナー／ワルキューレ騎行 他

### スタッフの台湾だより

イー トン シン ジャン  
伊 東 幸 江

主人の転勤で犬を3匹連れて5月から台湾に来ています。こちらに来てまず驚いたのは、台湾の方がとても親切で暖かく、日本語を話せる人達が多いという事です。同じアパートにも日本語が話せる方が何人かいますが、一番お世話になっているのが、隣のツイさんの奥様で、言葉は全く通じませんがどうにかになってしまうのがとても不思議な気がします。中国語は大変難しく、私の耳にはBGMのように流れています。習っているのですがとても話せるようになるとは思いません。中国語の先生に静岡の新茶をお出ししたら「わぁー口の中で緑の香りが広がります。」さすがお茶の文化度の高い国の方です。私もこちらで台湾の文化に接したいと思っています。太極拳、中国語、それから今、日本人の間で流行っているのが二胡だそうです。女子十二楽坊の影響でしょうか。住んでいる所は六張犁という駅の近くです。このリュウジャンリーという発音が難しい！リュウジャンリー、リュウジャンリー、（もう一つ）リュウジャンリートク…。あれ？ボルガの舟歌に似ている！これには主人と二人で大笑いです。近くの敦化南路は台湾で一番きれいといわれている通りで犬の散歩コースです。料理、フルーツがとても美味しいこの国でいろいろ体験して日本に帰りたと思います。

2006年 四季のコンサート 予定

**春** 森 麻季 ソプラノリサイタル 4月28日(金)

ミュンヘン国立大学大学院修了。その後イタリア、ドイツを中心にオペラ・オペレッタ・オラトリオ・リートの分野で数々の最優秀賞を受賞。中でも、ドミンゴのオペラコンクールで優勝を果たし、ワシントン・ロサンジェルスオペラでドミンゴ、アラニャなどと共演。また国内外でのオーケストラとの共演など幅広く活躍中。その深い音楽性と華のある容姿で各方面から絶賛を浴びています。類稀なる美しいコロラトゥーラソプラノは多くのファンを魅了することでしょう。

**夏** 高木綾子(フルート) & 福田進一(ギター) デュオリサイタル 6月29日(木)

驚異的なテクニックと深い音楽性を兼ね備えた若きフルーティスト高木綾子と、ギターの概念を塗り替えた斬新な音楽性で常に世界的に注目を集めているギタリスト福田進一との豪華なデュオです。人気実力ともに群を抜く二人が2004年にリリースしたピアノの「タンゴの歴史」と武満徹の「海へ」はクラシックとポピュラーの幸福な出会い!として各方面より絶賛されています。この夢の共演をどうぞお聴き逃しになりませんように。

**秋** フレディ・ケンプ ピアノリサイタル 11月<sup>9日(木)</sup>予定

1977年、ドイツ人の父と日本人の母のもと、ロンドンに生まれ、8歳でロイヤル・フィルとの共演でデビュー。1992年BBC青少年コンクールで優勝。その後、1998年チャイコフスキー国際コンクールで第3位及び聴衆賞を受賞し、一躍注目を浴びる。現在は世界各国で演奏会、著名オーケストラと共演、また録音でも益々その活躍の場を広げています。伸びやかな音楽性と生命観溢れる若きヴィルトゥオーゾにご期待ください。

**冬** 林 峰男の室内楽の夕べ 12月<sup>10日(日)</sup>予定

スイスを拠点に国際的に活躍するチェリストの林 峰男は、今年でデビュー30周年を迎えました。その彼が日本で最も信頼する演奏家、ピアノの伊藤 恵、ヴァイオリンの加藤知子との共演で精巧なアンサンブルを聴かせます。この3人の名手でなければ奏でられない、絶妙なバランスによる深みのある室内楽の真髄をお楽しみください。

浜松出身の演奏家シリーズ

小杉 結 ヴァイオリンリサイタル 7月22日(土)

浜松市立北浜東部中学校(旧浜北市)、東京芸術大学付属高校を経て、現在東京芸術大学4年在学中。2002年浜松交響楽団ソリストオーディション第1位。名古屋国際音楽コンクール弦楽部門入賞。2003年ギリシャ・パトラスヤングソリスト国際ヴァイオリンコンクール第3位。その後浜松交響楽団、芸大オーケストラなどと共演。AOIコンサートシリーズなど多くの演奏会に出演し好評を博しています。これからの活躍が大いに期待されている注目のヴァイオリニストです。

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で、テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417までお申込みください。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。